

船舶事故等調査報告書

平成23年1月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010門第149号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年8月22日（日） 04時55分ごろ	
発生場所	福岡県北九州市若松区北方沖 白州灯台から真方位167° 420m付近 （概位 北緯33° 58.8′ 東経130° 47.6′）	
事故等調査の経過	平成22年9月13日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	モーターボート ひで丸、2.55トン	
船舶番号、船舶所有者等	291-13286福岡、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	舵の保護棒曲損	
事故等の経過	本船は、船長1人が乗り組み、友人1人を乗せ、白州灯台南南東方沖で漂泊中、風と潮に流され、平成22年8月22日04時55分ごろ、本船の舵の保護棒部分が浅所に乗り揚げた。乗揚後、友人を船首に移動させて船尾を浮かせたところ、自力で離礁した。 本船は、自力で帰港した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南東、風速 約2～3m/s、視界 良好 海象：海上平穏、潮流 東流、潮汐 上げ潮の中央期	
その他の事項	本船は、航海計器として、GPSと魚群探知機を搭載していた。 船長は、船位の把握を白州灯台からの目測で行っていた。 本船は、約20分間漂泊していた。 本事故発生場所付近の日出時間は、05時43分であった。 本船の喫水は、船首約0.4～0.5m、船尾約1.4～1.5mであり、付近の水深は約1mであった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、漂泊中、船位の確認を適切に行わなかったことから、風と潮により浅所に向けて流されていることに気付かず、同浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、白州灯台南南東方沖で漂泊中、船位の確認を適切に行わなかったため、風と潮により浅所に向けて流されていることに気付かず、同浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	